

日、山田会長が細野豪志環境相と面談した際、知事会がこれまで主張してきたがれき処理の課題について、細野環境相が国の処理責任を明確化し、地方と連携してがれき処理に主体的に取り組んでいく旨の回答があったことを踏まえた対応。

要請文書によると、細野環境相は、がれき処理に当たり事前に協定を締結するなど国の処理責任を明確化し、地域で設定した安全基準を上回る焼却灰などが生じた場合は国が責任を持って対応するほか、がれき処理の各段階におけるモニタリングと情報公開を徹底し、住民にも安全性を直接確認してもらうなど、住民の安心・安全を確保する取り組みを行うと回答。また、がれきの受け入れ

による風評被害が生じないよう国として万全の対策を講じ、万が一、風評被害が発生した場合は国が責任をもって対応するほか、低濃度の廃棄物による被害対策の必要性も十分認識していると回答した。

がれき処理 協力へ要請文

全国知事会会長

全国知事会の山田啓二会長（京都府知事）は9日、全国の都道府県知事宛てに、東日本大震災で発生したがれきの広域処理に積極的な協力を要請する文書を送付した。同